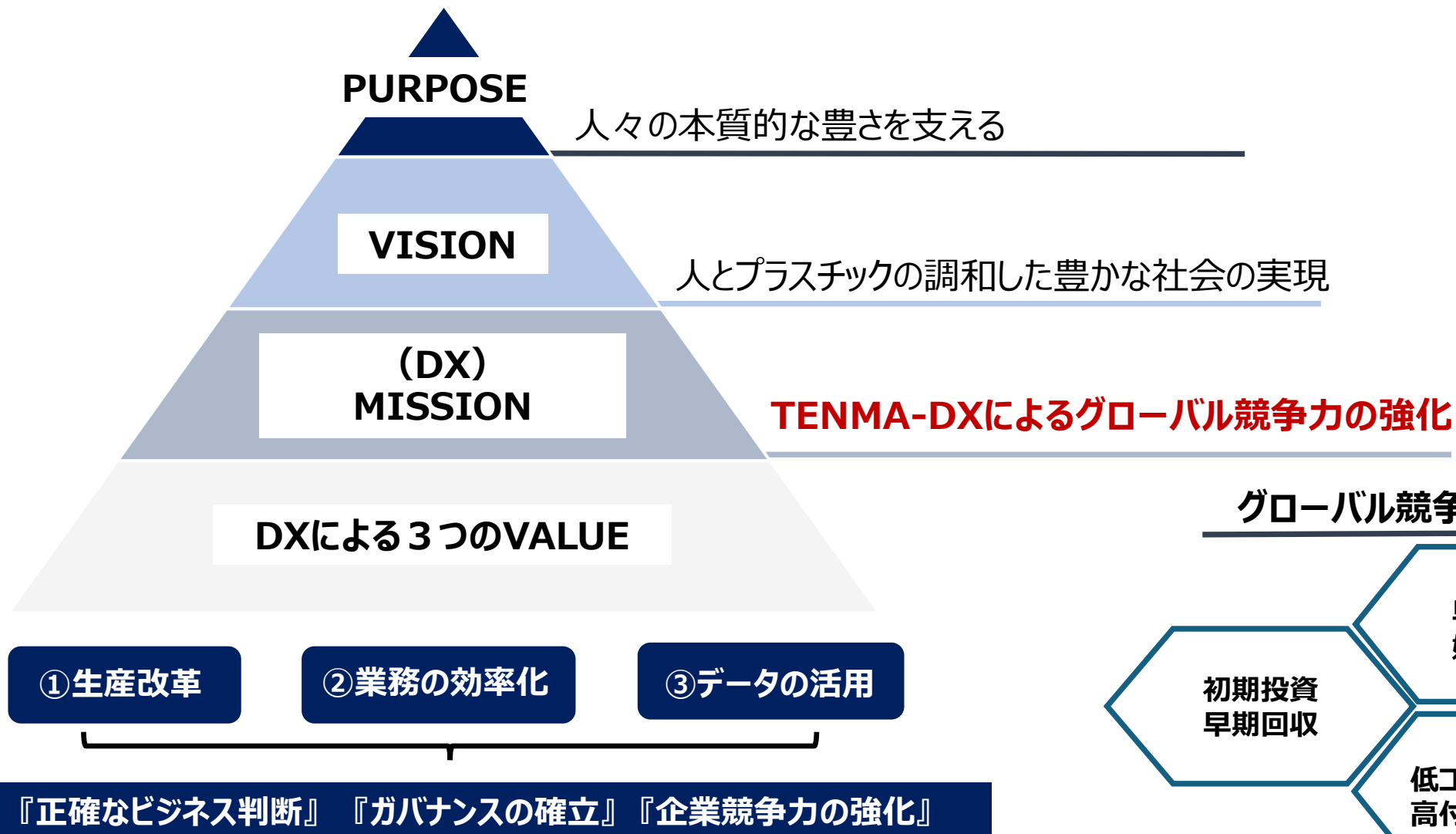
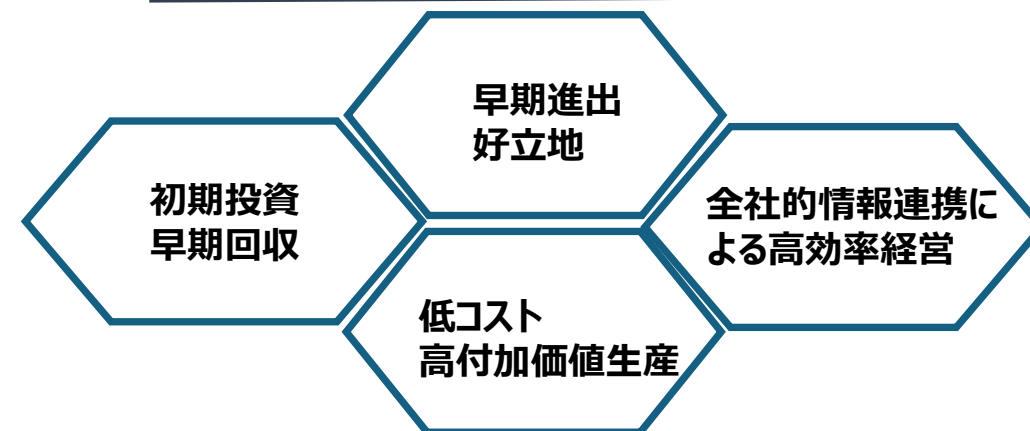


TENMA-DX方針

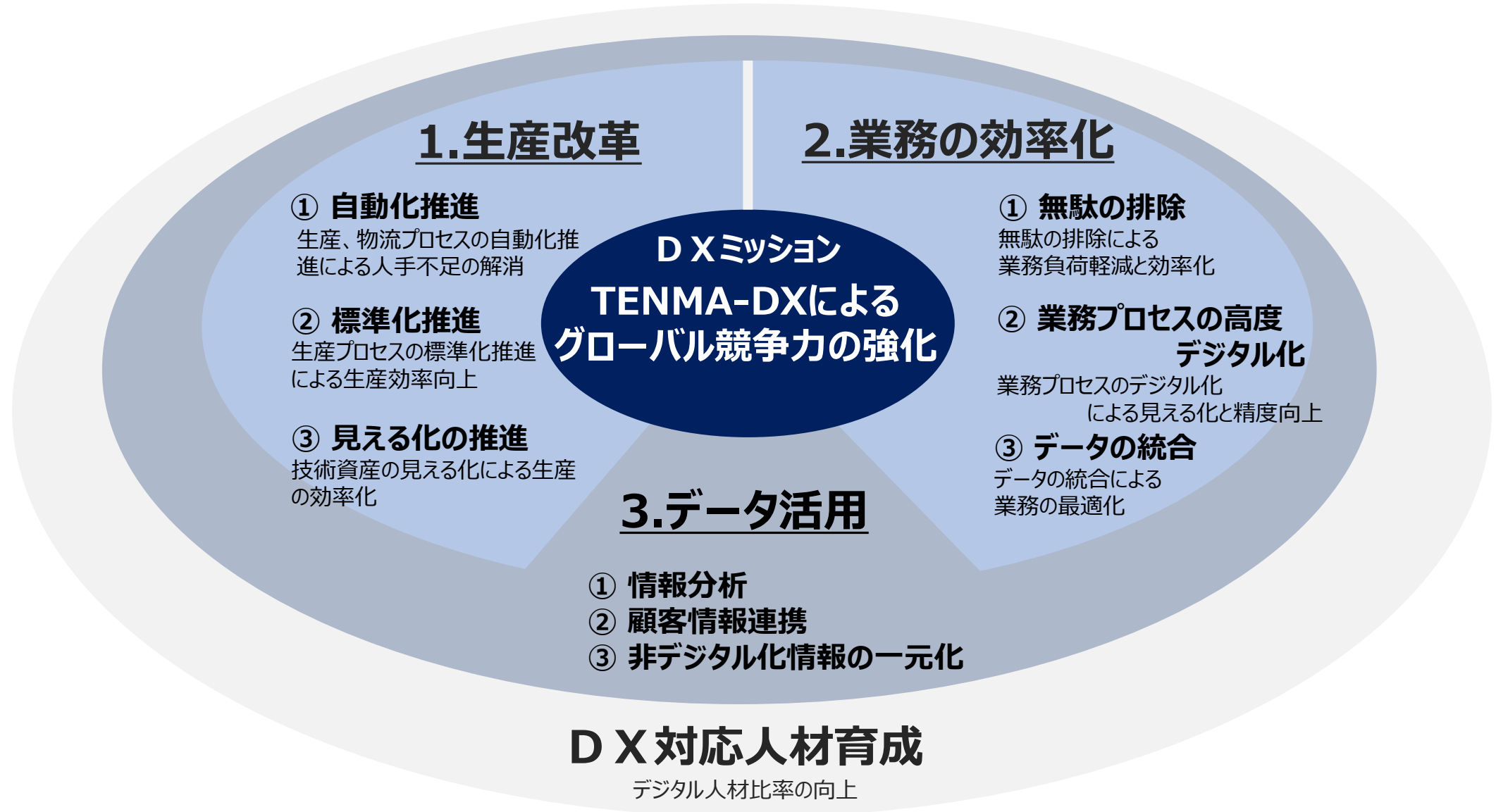
DXによるグローバル競争力の強化と持続的成長の実現



グローバル競争力を高めるための要素



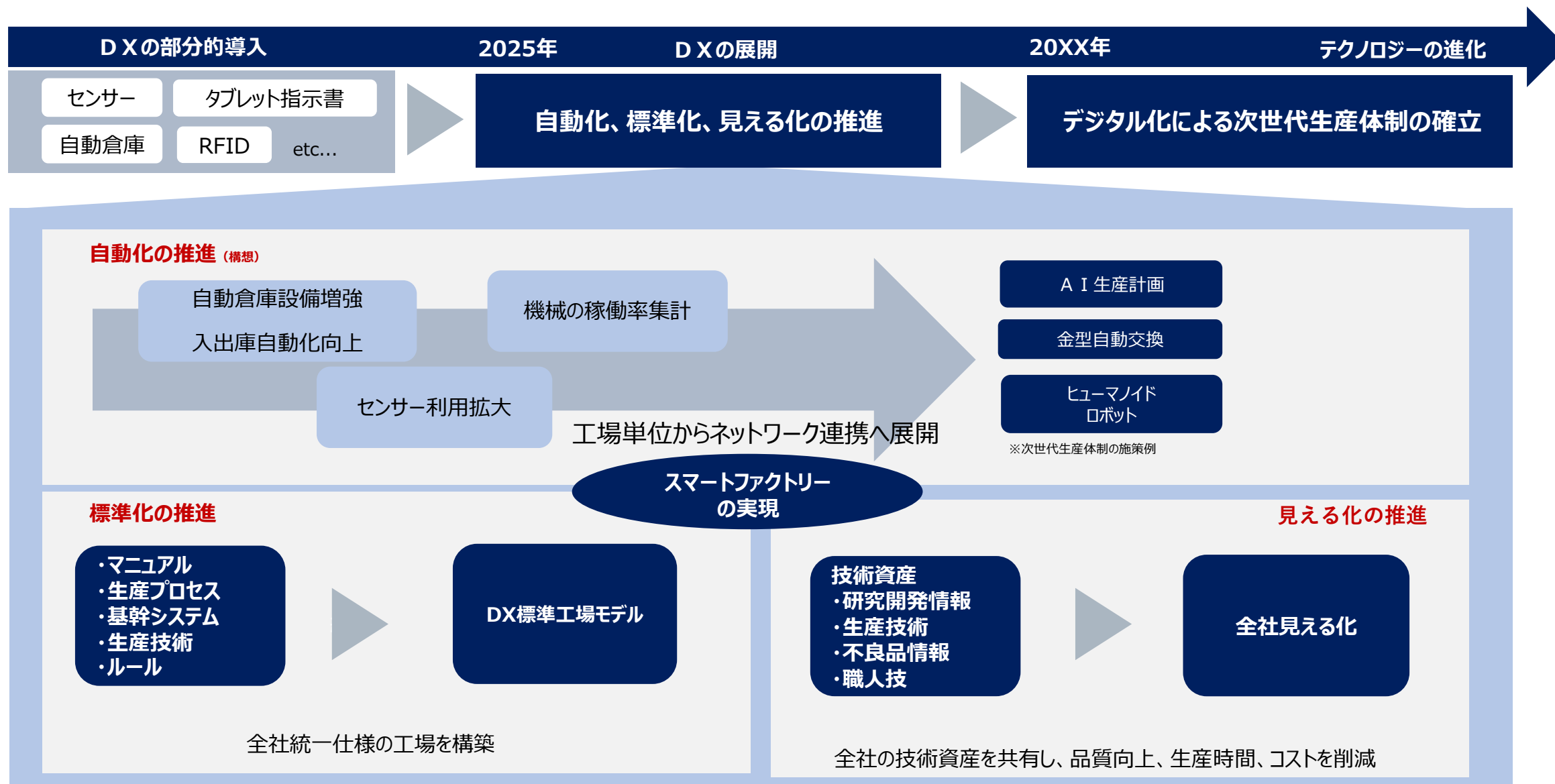
高収益性へ転換しつつ持続的成長に寄与



3-1 生産改革

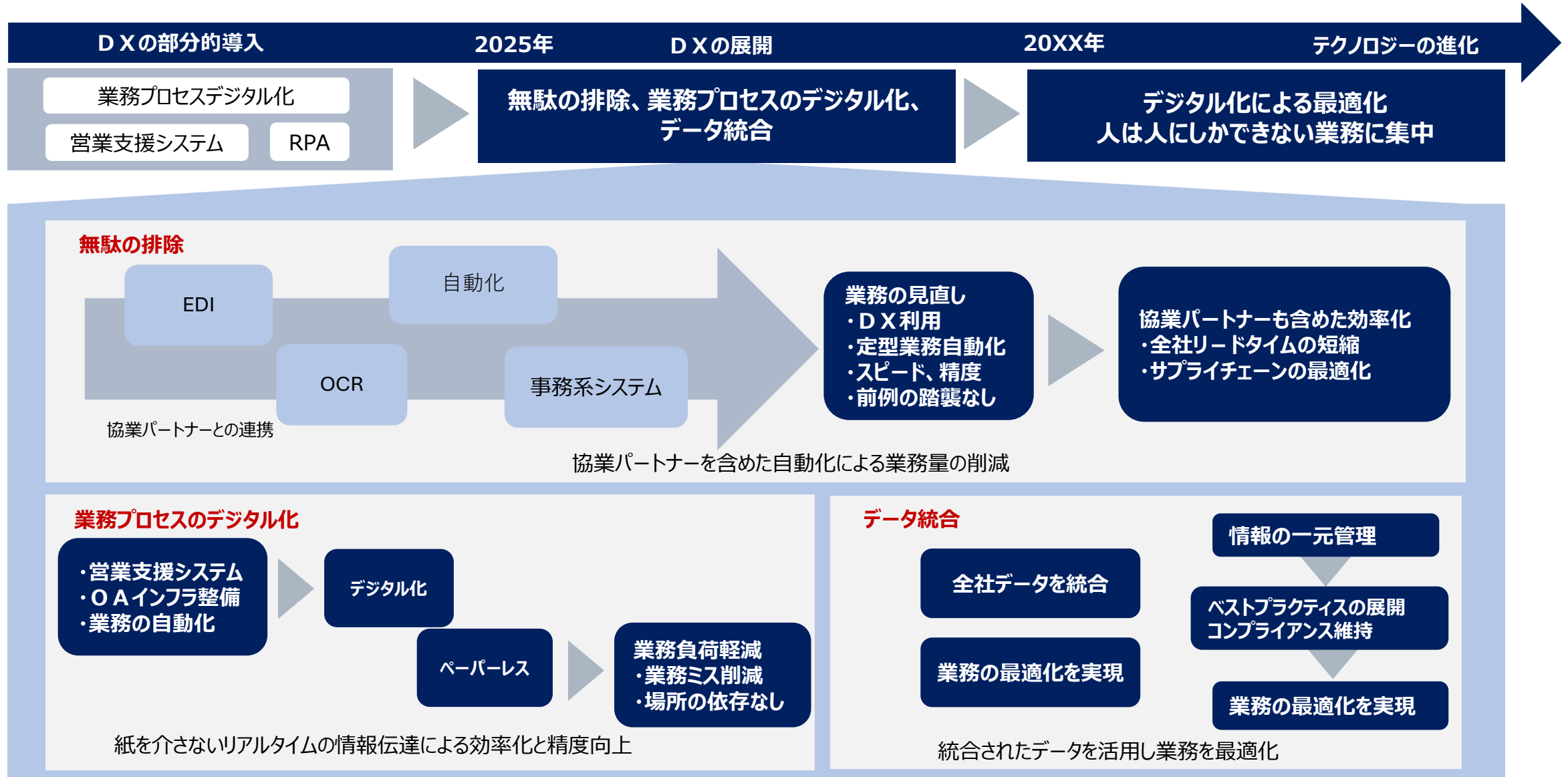


自動化を組み込んだ生産プロセスの最適化により人への依存を削減し、次世代の生産体制を確立



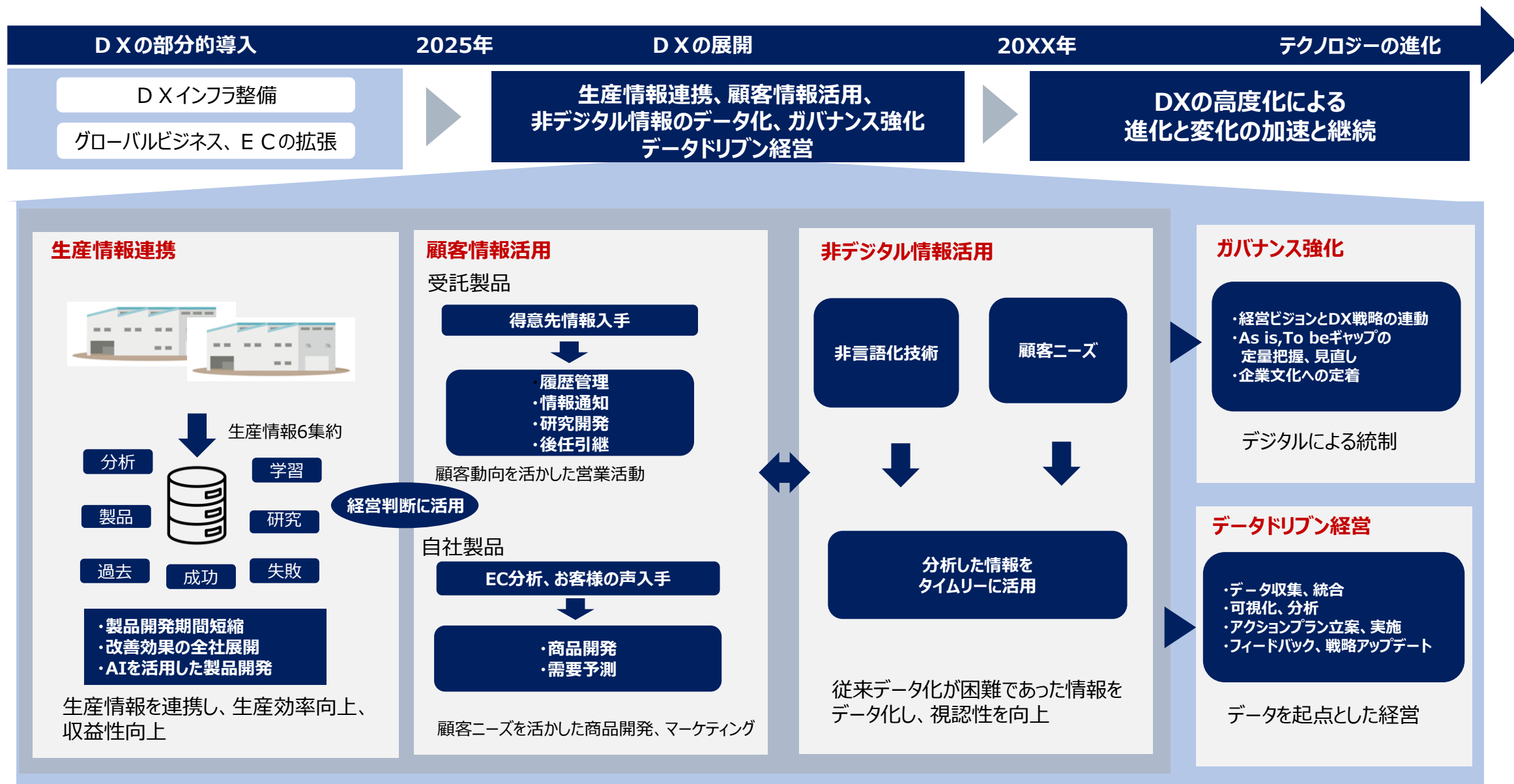
3-2 業務の効率化

デジタル化の推進により業務の効率化、精度向上を図り、属人化を排除した業務の最適化を実現



3-3 データ活用

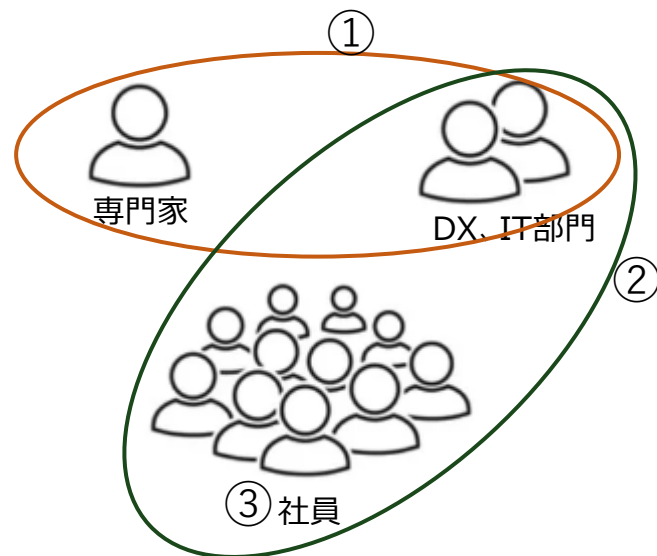
情報資産の共有、管理、活用を推進し、データを起点とする会社運営による優位性を確立



3-4 DX対応人材育成

DXは普遍化し誰もが使うもの、社員のDXスキル強化により、テクノロジーを活用して進化する組織を実現

人材育成のステップ



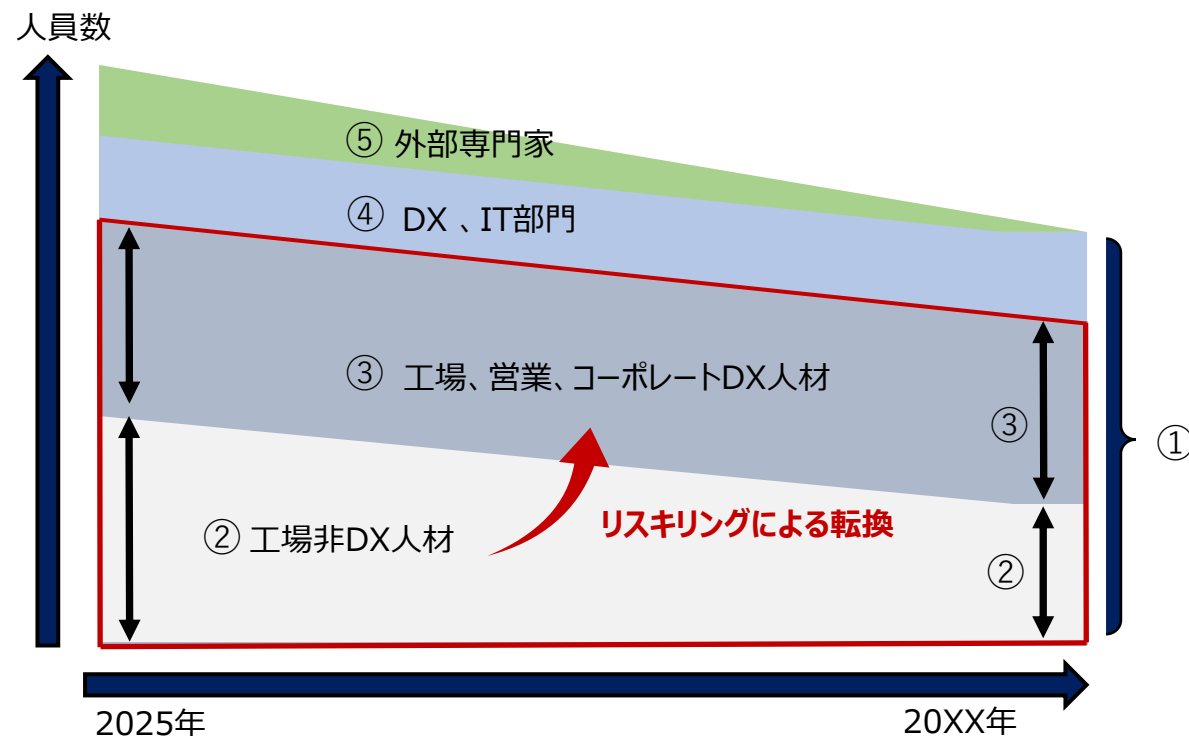
DXを普遍化するステップ

- ①当初DX、IT部門と外部専門家がDX人材育成を計画し、教育
- ②DX、IT部門が主導し、社員のスキルをレベル向上
- ③社員のスキル向上が実現し、社員自らDXを活用

スキル向上の施策

- ・スキル向上のための社員教育を継続
(DX人材の採用も期待するが人材難はつづく)
- ・DX予算はインフラだけでなく人材育成にも分配
- ・DX資格取得者への報奨金支出

DX人員構成イメージ



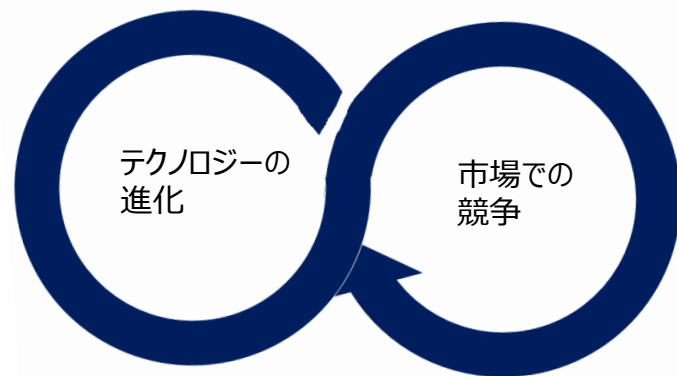
- ①テクノロジーの進化により社員数は減っても成長を維持
- ②工場の非DX人材の比率は減少していく
(リスキリングによる工場の非DX人材のDX人材化を推進していく)
- ③事業部門のDX部門の比率は増加していく
(営業、コーポレートは全員がDX人材となる)
- ④DX、IT部門は一定数を維持し、恒常的な変化のリード役となる。
- ⑤当初外部専門家を活用するが将来は自社で対応する

4 TENMA-DXの 必要性/期待効果



新たなテクノロジーを使ったDX活用に伴う進化継続により、恒常的に優位性を確保する

DXの必要性



テクノロジーの進歩と市場での競争は永遠に続く

変化に対応し、進化を継続していく人材、組織を有する会社

DXの有効性を活用し、付加価値を得ることで市場優位性を確保

DXを普遍化し、だれもがあたりまえに使用する

DXの期待効果

DXの推進



DXの優位性

自動化

標準化

見える化

①生産改革

②業務効率化

③データ活用

業務的效果

業務効率化

コスト削減

データ活用の向上

生産性の向上

顧客サービスの改善

ヒューマンエラーの削減

プロセスの標準化による品質向上

リモートワークの促進

サプライチェーンの最適化

イノベーションの促進

経営的效果

収益力の強化

顧客満足度の向上

迅速な意思決定

持続可能な成長

リスク管理の向上

新たな収益源の確保

ブランド価値の向上

組織文化の変革

パートナーシップの強化

グローバル展開の加速

グローバル競争力の維持

DXを活用することで「競争力」という果実を継続して取得する

5 TENMA-DXのロードマップ



進化できない企業は生き残ることはできない。
当社はDXを活用して競争優位性を持続し、
継続した成長を実現する。

当社の立ち位置と方向性

